【鮭の聖地、枝幸町】今年は秋鮭漁が好調です！

秋といえば鮭！今シーズンは豊漁だそうですよ。
ふるさと納税では、切り身や新巻姿、いくらや冬葉もご用意しております。
栄養たっぷりのオホーツク枝幸の秋の味覚を、ぜひご自宅でお楽しみください。（担当Ｉ）

日刊宗谷
2021年（令和３年） 日刊（月曜休刊）
9月 29日 （水曜日）
発行所 〒097-0023 稚内市開運２丁目１番８号
株式会社 宗 谷 新 聞 社
電話 営業235010番 編集235011番・F235012番
（購読料１ヶ月1,500円 定価１部80円消費税込）

枝幸漁協秋サケ漁

豊漁続き100万尾超す

1日で12万尾も

“銀鱗”が躍り浜に活気

【枝幸】オホーツク海西部の秋サケ漁は、今月３日の解禁から間もなく１か月が経とうとしているが、枝幸漁協の17か統では、９月だけで１００万尾を超す豊漁に。昨シーズンの１０６万６７００尾の実績を超えるのは必至で、１６０万尾を記録した２００６年と15年に近い水揚げペースとなっている。枝幸のハマは連日、銀鱗が躍り活気に包まれている。（神保敏也）

魚倉を満杯にしている枝幸の秋サケ漁

今シーズンは網入れ2万尾、25日9万尾と好調。25日までに20日間操業して86万4400尾で昨年の3分の1の水揚げ1780尾を上回った。10日以降は陸網から沖網の全か統揃っての水揚げが始まり、シケ模様後の16日に7万5000尾、17日に9万尾を水揚げして以降、18、19日は6万尾台、20日7万尾、21日8万尾、22日5万尾、23日4万尾、24日

翌日の4日に初水揚げ。初日は1万尾ほどで昨年の64万尾、19年の69万尾の年間水揚げ数量を既に超えている。

27日は12万7400尾の大漁。昨年9月29日の16万5886尾に迫った。早朝、枝幸港や各漁港から出巻した漁船が網を起こし、魚倉をサケで満載にして帰港。1度荷揚げした後、2度目の網を起こす船も。帰港の度に岸壁で家族らが総出で選別作業に大賑。枝幸魚市場は“秋の主役”を送り出すための作業が長時間に亘り続いている。

漁師らによると「定置の場所によっては多い、少ないはあるけど、ここ数年にない豊漁続き」と話す。連日の大漁で少し疲れ気味の漁業者家族は「疲れはあるけど、ハマに活気あるのは良いことだネ」と嬉しい悲鳴も。今期の秋サケは平成以降最低の来遊予想と発表されていた中で思わぬ豊漁となっている。

枝幸町の季節の話題
随時更新！